

指定管理者モニタリング結果報告書（令和 6 年度）

- ・ 施設名 ： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
- ・ 施設所管部課： 協働推進部まなび文化課
- ・ 指定管理者 ： 公益財団法人ミモカ美術振興財団

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：業務報告書にて逐次確認 随時モニタリング：令和 7 年 6 月 27 日（金）に実施
実施方法		定期モニタリング：業務報告書をもとに、管理業務の達成状況を確認 随時モニタリング：指定管理業務状況聴取表などをもとに聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	保守管理業務（警備、清掃、保守点検等）は、専門性の確保、コスト削減のため、外部業者に委託しており、安全面・機能面の保持に努めている。また、老朽化による設備や機器等の不具合、緊急性を要する箇所の補修や修繕は迅速に対応している。
	②施設の利用状況	令和 6 年度は、展覧会の総観覧者数 62,164 人、美術館関連事業等参加者等も含めると 108,497 人が訪れた。令和 5 年度と比較すると、観覧者数が 17%程度減少しているが、コロナ禍前の水準には戻っている。
	③施設利用者の意向把握と対応	来場者アンケートや企画展ごとの対面アンケート、イベントやワークショップ開催時のアンケートを実施し、利用者の意見・要望等の把握に努めている。
	④管理体制	常務理事（常勤）1 名、事務所 17 名（正規 10 名、臨時 7 名）フロア業務 4 名（正規 1 名、臨時 3 名）計 22 名の体制である。 施設管理全体を管理運営していくための事業を円滑かつ効果的に推進できる体制づくりに努めている。 また、展示室案内及び受付業務の一部については業務委託、図書案内業務は労働者派遣契約によりスタッフを配置している。
	⑤管理経費	物価や人件費の高騰、観覧料や物品販売収入の減少を要因として、光熱水費の追加指定管理料を加えても予算の不足を生じており、厳しい管理運営となった。
	⑥緊急時の対応について	美術館利用者の安全を最優先に、職員の防災意識向上のための訓練、研修を定期的実施するとともに、文化資産である展示作品や収蔵品に対する防犯・防火体制を適切に整備している。令和 6 年度は、地震避難誘導訓練を中央図書館・警備員と合同で実施した。
	⑦そ の 他 （指定管理者の業務遂行能力等）	指定管理者本体の業務遂行能力に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑧改善指示事項	来館者の増加を図るため、民間情報誌との連携など、情報発信手段の多様化に取り組み、これまで来館機会がなかった層の新規獲得に努めること。 災害等の緊急時においても、人的被害を最小限に抑え収蔵品の保護及び施設機能の早期回復を可能とする業務継続計画の策定を検討すること。
実施結果に対する所管課の意見		美術館の理念を将来にわたり継承していくために、理念を理解し実践できる後継者の育成を図ってほしい。 施設設備の老朽化に対応するため、長寿命化を目的とした大規模改修を見据え、長寿命化計画の改訂を含めた検討・協議を進めること。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		美術館来場者の増加を目指すだけでなく、満足度向上に重点を置いた取組を推進し、その成果を可視化することで、より多くの人に美術館の魅力を伝えていくこと。